事業番号	事務事業	名	地域猫活	地域猫活動補助事業							所管課名 生活環境部人権·市民生活課 <mark>所属長名</mark> 能息					
	方向性	1	くらしを守	る			係・	<mark>係・グループ名</mark> 市民生活係								
	重点施策	5	豊かな自然	然を次	で世代につれ	根拠法令等			動物の愛護及び管理に関する法律、廿日市市地域猫活動補助金交付要綱							
	施策方針	2	豊かな自然	とかな自然の保護・活用						基本事業						
7 M 1.1 D	会計	01	款	04	項	01	目	05	事業1	事業2	² 経·臨 予算上の事業名					
予算科目	一般会詞	H	衛生費 保健衛生費 環境衛生				ř	001	02	臨 環境衛生一般事業						

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)						
	特定の飼い主がいない猫を原因とする生活環境の悪化を地域の問題として地域全体で理解し、これらの猫に不妊手術又は去勢手術を施し、給餌、	猫の殺処分を削減するための有効な手段として、国(環境省)は平成22年に「住宅密集地における犬猫						
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	給水、排泄物の処理、周辺の清掃等の管理を継続的に行い、徐々に被害 を減らすことを目的とした活動(以下「地域猫活動」という。)を行う団体に 対し、必要経費の補助を行うほか、市民向けの啓発を行う。	の適正飼養ガイドライン」を制定しており、広島県も 平成27年に「広島県地域猫活動ガイドライン」を策定 しており、地域猫活動に取り組んでいる団体からの						
	地域猫活動に対する市の補助を受ける場合は、市へ団体登録を申請し、 許可を受けた後に、手術経費等の補助申請を行う。	強い要望を背景に、本市では平成28年度に地域猫 活動補助金制度を創設した。						
2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標								

主な活動内容		活動	指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
活動団体の登録に係る受付、審査、決定	\rightarrow	7	補助金交付額	千円	目標	800	1,600	1,200	1,850	1,850
・手術経費、材料経費の補助金交付に係る		,	補助並文的領	TH	実績	1,019	1,683	1,342		
受付、審査、決定 ・補助金交付額 手術経費:上限	_	1	 新規登録団体数	団体	目標		5	5	5	5
不妊手術25,000円、去勢手術15,000円		7	利风豆稣凹体数	四本	実績	8	4	7		
材料経費:令和4年度までの団体通算5万	\rightarrow	ь	補助金交付件数	胜	目標	-	70	70	87	87
円、令和5年度新規登録団体は2万円を上限			補助並文的 什数	17	実績	63	70	64		
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度

対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
		7	市に登録している地域猫活動団体	団体	見込	25	35	40	46	51
	\rightarrow	,	数(年度末現在総数)	平四	実績	31	34	39		
地域猫活動団体		1			見込					
地域佃冶到凹体		7			実績					
		ъ			見込					
] →	.)			実績					

意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	7	団体が台帳に登録している猫の数	件	目標	_	550	600	865	900
		,	(年度末現在総数)	1+	実績	580	676	829		
特定の飼い主のいない猫を減らす		_			目標					
特定の則い土のいない個を減らす		1			実績					
		Ь			目標					
	→	.,			実績					

結果(結びつく施策の意図は何か) 自然環境を守る意識を高め、自然環境 を保全するとともに、市街地においては 潤いのある都市空間で過ごす

施	策の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
_	環境保護活動に取り組む市民の割	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	
,	合	90	実績	33.6	32.5	31.9		
			目標					
1			実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

<u>3 ≢</u>	争務争業の予算・コスト微安											
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)					
1	事業費(A) (円)	400,000	1,018,102	1,682,186	1,341,670	-340,516	1,850,000					
	国庫支出金					0						
財	県支出金	200,000	200,000	200,000	200,000	0	200,000					
源 市債						0						
訳	その他特財		799,000	1,326,100	803,500	-522,600	1,500,000					
	一般財源	200,000	19,102	156,086	338,170	182,084	150,000					
業系	務延べ時間 (時間)	50	100	100	100	0						
	人件費(B)(円)	219,000	426,000	436,000	443,000	7,000	0					
ŀ	ータルコスト(A+B)	619,000	1,444,102	2,118,186	1,784,670	-333,516	1,850,000					
	主な	支出項目	令和	印6年度(決算)	備考							
一般	補助金			1,341,670 円								
				円								
				円								
				円								

事業番号	事務事業名	地域猫活動補助事業	所管課名	生活環境部人権・市民生活課
------	-------	-----------	------	---------------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取 ③ この事務事業に対して、関係者(住民、議り組み経緯 会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意 ① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令 等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年 り組み経緯 前と比べてどう変わったのか。 見や要望が、どの程度寄せられているか。 手術経費の無償化や病気の際の治療費につ いても、助成して欲しいとの要望が寄せられて あったが、令和6年度末現在で39団体まで増加し ている。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	6総後期基本計画1-5-2の関連事業である。								
目	☑ 結びついている	説明	O版は州本本計画「J 20/国廷事末でのる。								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業	は市が行わ	なければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)								
当性	□ 見直し余地がある	理由	有料で犬猫を引き取り保護するNPO法人もあるが、市内には同様の団体は無く、猫の適正飼養の推進には行政が関与する必要があり、地域猫活動への支援は、市民の生活環境の悪化を防ぐために必要な事業								
評	☑ 妥当である	説明	である。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)										
	□ 見直し余地がある	理由	 特定の飼い主のいない猫に関する苦情や相談の件数は、依然として多く、これらの猫を減少させる取組を								
	☑ 適切である	説明	より一層進める必要がある。								
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	☑ 向上余地がある	理由	令和3年度以前は、年度中途で事業費が予算額に達し、十分な補助金交付ができなかったが、令和4年度からクラウドファンディングの財源を活用することでほぼ全ての申請件数に対応することができたため、引き								
	□ 目標水準に達している	説明	続き財源確保に努める必要がある。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)								
性	□ 影響がない	理由	 特定の飼い主のいない猫の増加に歯止めがかからない状態となり、糞尿の放置や鳴き声などに関する苦								
評価	✓ 影響がある	説明	情が増加する。								
	⑥類似事業との統合や連携による改善	善余地(類似෧	事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)								
	☑ 改善余地がある	理由	 広島県でも同様の制度があり、県と市の両方の制度を活用している団体もある。県の制度は、手術費を動								
	□ 改善余地がない	説明	物病院へ支払うため、団体負担はないが、手術日が指定されるなど制度的に使いにくい部分がある。								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	□ 削減余地がある	理由	地域猫活動団体は、相当額の金銭的負担をしている状況であり、事業費を削減する余地はない。								
率性	☑ 削減余地がない	説明	地域加力到回体は、旧当限の並或即負担としている状態であり、事業員と削減する示地はない。								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	減余地(瓦	は果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	✓ 削減余地がある	理由	 手術経費を動物病院へ支払う方法に変更することで、活動団体からの申請件数が減少し、人件費を削減								
	□ 削減余地がない	説明	する余地はある。								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化分	₹地(事業内	容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	□ 見直し余地がある	理由	一部の市民に対し補助金を交付する事業ではあるが、その効果は野良猫の無制限な繁殖を抑制するもの								
評価	☑ 公平・公正である	説明	であり、市民全体の利益につながっている。								

6 ₹	業評価の総	括と今	後の方向]性											
①上	記の評価結果	₽.				②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠									
Α	目的妥当性	Ē.,,,	✓ 適 ¹	ח 🗆	見直しの余地有り	令和4年度から、クラウドファンディングを募り、手術経費などに充当することにより、大幅に									
В	有効性		□ 適 ^t	л У	改善の余地有り	・手術経費の補助上限を引き上げること は増加している。									
С	効率性		□ 適t	J 🗹	改善の余地有り										
D									ILŒE	101-01	、丁咖	性貝の			
3今	後の事業の力	5向性((改革改善	善案)⋯複	数選択可		④改3	革改善	案によ	る成果・コ	ストの其	月待効果			
>	拡充	□ 項	見状維持			今後の改革改善案									
	目的再設定	✓ 3	女善	不妊·去	勢手術費用の全	件・全額を補助対象とできるよう、補助上限額や事業					スト				
	休止・廃止		記了		頁を検討するととも 討する。	らに、手術経費を市が動物病院へ直接支払う仕組みに			$\overline{}$	削減約	推持 増	加			
									向上)			
⑤改	革改善案を実	ミ施する	る上で解え	央すべき課	題			成果	維持						
									低下						
							()	廃止∙∜	木止、完	了の場合	は記入	不要)			

事業番号	事務事業	名	し尿収集道	重搬事	業		所	管課	名	生活環境部循環型社会推進課 所属長名 高田 克彦					
	方向性	1	くらしを守ん	る				係・	<mark>系・グループ名</mark> 資源循環推進係						
	重点施策	5	豊かな自然	然を次	世代につた	ょぐ					廃棄物の処理及び清掃に関する法律 廿日市市廃棄物の減量の推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例				
	施策方針	2	豊かな自然	然の係	詳・活用			基本事業							
3 M 1 D	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業1	事業2	経·臨 予算上の事業名				
予算科目	一般会詢	it	衛生費	ŧ	清掃費	Ì	し尿処理費	002 01		経 し尿収集運搬事業					

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		・これまでのし尿処理体制は業者の主体的な企業活動に収集運搬を委ねる「許可方式」により、昭和30年頃から実施し、収集運
/ 年度~ 年度)	廿日市地域のし尿収集運搬に関する業務(受付、収集運搬、収納、報告)を4業者に委託する。 また、各業者の収集区域は、市がそれぞれ指定した区域とする。	搬にかかる費用は、業者が各世帯から徴収する手数料で運営してきたが、公共下水道の普及によりし尿収集量の減少、収集場所が点在化することで、非効率な収集状況となっていた。 ・このため、令和2年4月から、将来に渡り安定したし尿の収集体
□ 単年度のみ		制を確保するため、収集運搬業務を民間業者による「許可方式」から市が実施主体となる「委託方式」に変更した。

→ ア L尿収集量	
主な活動内容 注	
→ プレ尿収集量	
→ し尿の収集運搬 ・し尿処理手数料収納事務 → 対象(誰、何を対象にしているのか) 対象(誰、何を対象にしているのか) 対象指標(対象の規模) ア 収集回数 □数 見込 8,600 8,000 8,000 7,50	年度 8年度
・し尿の収集運搬 ・し尿処理手数料収納事務 → イ 目標 実績 日標 実績 対象(誰、何を対象にしているのか) 対象指標(対象の規模) 単位区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 に 収集回数 サ日市地域におけるくみ取り便所の市 対象指標(対象の規模) 単位区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 に 東銭 7,509 7,425	1,650
→ ウ 目標 実績 1 日標 実績 7 日本度 5 年度 6 年度 7 日本度 7 日	
対象(誰、何を対象にしているのか)	
→ ア 収集回数 回数 <u>見込</u> <u>8.600</u> <u>8.000</u> <u>8.000</u> <u>7.50</u> 世日市地域におけるくみ取り便所の市 <u>見込</u> <u> </u>	
→ ア 収集回数 回数 _{実績} 7,872 7,599 7,425 廿日市地域におけるくみ取り便所の市 → ス 見込 見込	年度 8年度
世日市地域におけるくみ取り便所の市	0 7,500
→ ウ <u>見込</u> <u>実績</u>	
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 成果指標(意図の達成度) 単位 区分 4 年度 5 年度 6 年度 7 :	年度 8年度
生活環境に支障がないよう、従来と同様 → ア し尿の円滑な収集(収集を必要とする世 % 1년標 100 100	100
の円滑な収集体制を維持し、また適正	
なし尿収集及び適止な手数料を徴収す → イ	
→ ゥ	
結果(結びつく施策の意図は何か) 施策の成果指標 単位区分 4 年度 5 年度 6 年度 7:	年度 8年度

結果(結びつく施策の意図は何か)

自然環境を守る意識を高め、自然環境 を保全するとともに、市街地においては 潤いのある都市空間で過ごす

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	٦	市の自然が守られていると思う市民	%	目標	81.0	81.0	81.0	81.0	81.0
→	,	の割合	70	実績	70.0	64.8	54.1		
				目標					
→	1			実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)		
Ę	事業費(A) (円)	61,292,000	61,292,000	58,586,000	56,230,922	-2,355,078	56,350,000		
	国庫支出金					0			
財	県支出金					0			
源内	市債					0			
訳	その他特財	37,308,900	33,922,550	33,334,800	33,510,150	175,350			
	一般財源	23,983,100	27,369,450	25,251,200	22,720,772	-2,530,428	56,350,000		
業務	孫延べ時間 (時間)	120	120	120	100	-20			
	人件費(B)(円)	526,000	511,000	524,000	443,000	-81,000	0		
 	ータルコスト(A+B)	61,818,000	61,803,000	59,110,000	56,673,922	-2,436,078	56,350,000		
	主な	な 支出項目	令和	口6年度(決算)	備考				
し尿	汲取り収集運搬委託	;料	5	66,230,922 円					
				円					
				円					
				円					

事業番号の基準を表現します。 「「「」」を表現します。 「「」」を表現します。 「「」」を表現しまする。 「「」」を表現します。 「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現しまする。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」」を表現します。 「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	管課名	生活環境部循環型社会推進詞
---	-----	---------------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
及び少子高齢化による世帯人員の減少で激減し、	・令和元年度までは許可方式で4業者が市の指定したエリアのし尿を収集していたが、企業活動を委ねる許可方式では、適正処理が困難となったことから、令和2年度から委託業務とした。料金体系は人頭制を廃止し、全て従量制とした。	開始した。 ・開始から5年が経過し、対象者から苦情など

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

<u> </u>	F未们四个17和 0 十次次升。										
	①政策体系との整合性(この事	事務事業の	目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)								
	□ 見直し余地がある	理由	・廿日市市内で発生する一般廃棄物(し尿)を適正に処理し、生活環境の保全、衛生環境を維持すること								
目	☑ 結びついている	説明	で、いつまでも住み続けたいまちにつながっている。								
的妥	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)										
当性	□ 見直し余地がある	理由	│ ・市町村は、区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないよう、適正に処理する責務が								
性評	☑ 妥当である	説明	ある。								
価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)										
	□ 見直し余地がある	理由	│ ・下水道が未整備である世帯や浄化槽への転換が困難な世帯にとって、一般廃棄物であるし尿の収集は、								
	☑ 適切である	説明	生活環境の保全や衛生環境を維持するために必要な事業であり妥当である。								
	④成果の向上余地(成果向上)	の余地はな	いか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)								
	□ 向上余地がある	理由	・委託による収集開始以降も、大きなトラブルもなく、適正なし尿の収集を行うことができており、対象者の								
	☑ 目標水準に達している	説明	生活環境の保全及び衛生環境の維持が図られている。								
有効	⑤廃止・休止の成果への影響	(事務事業	・ を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)								
性	□ 影響がない	理由	│ ・当業務を廃止・休止すれば、対象世帯の生活環境の保全、衛生的な環境の維持が困難となり、市民生活								
評価	✓ 影響がある	説明	への影響がある。								
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)										
	□ 改善余地がある	理由	・一般廃棄物の適正な処理は市町村の青務であり、類似事業はない。								
	☑ 改善余地がない	説明	・一放廃業物の適正な処理は印刷性の具務であり、類似争未はない。 								
	⑦事業費の削減余地(成果を	下げずに仕	様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)								
効	□ 削減余地がある	理由	・経済性の確保よりも、業務の継続的かつ安定的、確実な履行という観点から、これ以上、事業費の削減は困難であ る。								
率性	☑ 削減余地がない	説明	・ただし、今後、下水道の整備状況によって収集量が大幅に減少する可能性があり、その際、必要に応じて見直しを行う。								
評	⑧人件費(延べ業務時間)の削	川減余地(瓦	た。 対果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)								
価	□ 削減余地がある	理由	・効率的な業務の実施に努めている。								
	☑ 削減余地がない	説明	・収集運搬費の歳入事務や契約事務などが定例的に発生するため、これ以上の削減は難しい。								
公平	⑨受益機会・費用負担の適正化余	除地(事業内	・ 容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)								
性	□ 見直し余地がある	理由	・下水道が未整備且つ浄化槽への転換ができない世帯に対して提供する事業であり、対象者が限定されることはやむを得ない。また、 浄化槽への転換が困難な対象者の経済状況も考慮するとともに、対象者の生活環境を維持する観点から、負担は最小限とすべきで								
評価	☑ 公平・公正である	説明	ある。								

6 事	業評価の総	括と今後	後の方向	1性								
①上	記の評価結果	艮			_	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	拠					
Α	目的妥当性	:	☑ 適均	л 🗆	見直しの余地有り							
В	有効性		✓ 適均	л 🗆	改善の余地有り	- ・引き続き、市民の衛生環境を守り、廃棄物処理の適	正処 ፤	理を行 ⁻	うため	、事業者	とも連	₫携を
С	効率性		✓ 適切	л 🗆	図りながら、当業務を行っていく。							
D	公平性		✓ 適切	л 🗆	見直しの余地有り							
3今1	後の事業の方	方向性(改革改氰	§案)⋯複	数選択可		4 改革	車改善案	による原	成果・コスト	の期待	効果
	拡充	✓ 現	!状維持			今後の改革改善案						
	目的再設定	□改	:善	・収集、選 を継続す		から苦情が出ないよう、事業者と適正処理に向け調整				コスト		
	休止・廃止	□ 完	了					<u> </u>	$\overline{}$	川減 維持	増加	
]	<u> </u>	 句上			
⑤改3	革改善案を実	能する	上で解え	央すべき課	題			成果約	推持	0		
								仴	氐下			
							(彦	発止・休山	上、完了	の場合は	記入不要	要)

_													=		
Ī	事業番号	事務事業	務事業名 公園アダプト活動団体補助金 戸							所 管課名 建設部維持管理課					中村 浩之
	方向性 1 くらしを守る 係・						係・	<mark>系・グループ名</mark> 施設管理係							
		重点施策 5 豊かな自然を次世代につなぐ							根	拠法令	等	廿日市市公共施設アダプト制度補助金交付要綱			
		施策方針	2 豊かな自然の保護・活用						基本事業						
I	7 M 1 0	会計	01	款	07	項	04	目	06	事業1	事業2	経·臨	予	名	
ı	予算科目	一般会詞	計	土木	画費	公園管理費	ŧ	001	01	経 公園維持管理事業					

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	·活動団体の認定 ·活動に対する補助金の交付	平成21年度より公共施設等の維持管理において、市民のボランティア活動の活性化及び施設等に関する地域環境の向上を図ることを目的に官民一体となった維持管理を実施
□ 単年度のみ		

□ 単年度のみ										
2 事務事業の対象・意図・活動・成果	指標									
主な活動内容		活動]指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	補助金交付団体数	団体	目標	10	11	12	13	14
		_			美稹	10	10	9		
・活動団体の認定	\rightarrow	1			目標					
・その活動に対する補助金の交付					実績					
	\rightarrow	ゥ			目標					
					実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)		対象	指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	\rightarrow	ア	認定団体数	団体	見込	10	11	12	13	14
		,		4四	実績	12	13	11		
アダプト団体として認定する団体	\rightarrow	1			見込					
アプラー団体として配定する団体	,				実績					
	\rightarrow	ゥ			見込					
					実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		+ =	华博(帝國の法戊族)	1 H	ద八	4 左座	r 左曲	0 左座	,左在	0. 左连
思凶(対象をCのような状態にしたいのか)		八千	!指標(意図の達成度) ┃	甲世	区分日標	4 年度 0	5 年度 0	6 年度 0	7 年度 0	8 年度 0
	\rightarrow	ア	活動停止団体数	団体	目標 実績	 1	0	0	-	U
┃ ・活動内容の推進					日煙	1	1	1	1	<u></u>
- 活動内谷の推進 - 新規活動団体の増加	\rightarrow	イ	新規認定団体数	団体	実績	<u>'</u>	1	<u>'</u>		

新規沽動団体の増加

	成果	指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	વ	活動停止団体数	団体	目標	0	0	0	0	0
1	,			実績	1	0	0		
	,	新規認定団体数	団体	目標	1	1	1	1	1
•	~			実績	3	1	0		
	4			目標					
1	.,			実績					

結果(結びつく施策の意図は何か) 自然環境を守る意識を高め、自然環境 を保全するとともに、市街地においては 潤いのある都市空間で過ごす

	施策	の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	7	環境保護活動に取り組む市民の割	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
*	,	合	70	実績	33.6	32.5	31.9		
	,			目標					
>	1			実績					

3 東黎東業の予賞・コフト郷更

3 事務事業の予算・コスト概要							
	年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
事業費(A) (円)		171,838	229,085	256,066	243,967	-12,099	360,000
	国庫支出金		0		0	0	
財	県支出金		0		0	0	
源内	市債		0		0	0	
訳	その他特財		0		0	0	
	一般財源	171,838	229,085	256,066	243,967	-12,099	360,000
業務延べ時間 (時間)		100	100	100	100	0	
人件費(B) (円)		439,000	426,000	436,000	443,000	7,000	C
ż	ータルコスト(A+B)	610,838	655,085	692,066	686,967	-5,099	360,000
主な支出項目			令和	日6年度(決算)	備考		
公共施設アダプト補助金				243,967 円			
				円			
				円			
				円			

事業番号	事務事業名	公園アダプト活動団体補助金	所管課名	建設部維持管理課
------	-------	---------------	------	----------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

若年層などアダプト団体を将来的に担う層に響くPR方法の検討

		③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
新たな国の動きや制度改定はない。 アダプト団体メンバーの高齢化が進んでおり、一	平成17年度から道路、平成21年度から河川等を 含む公用設備等において、官民一体となった維持管	
	理を実施してきた。平成24年度には、これまでの資	
	材等を支給する制度から補助金制度に移行した。資 材等の支給の手間が省かれ、スムーズに作業が実	
		初価上昇により、負付寺の価格が上がつている ことから、補助金の上限を上げて欲しいという
	令和6年度に要綱改正を行い、補助金の概算払を	声も挙がっている。
	DV 1 27 6 主 判除なさ出しわす/ た	

5	5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)						
	①政策体系との整合性(この事	■務事業の	目的は市の政策	体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)			
目的妥当性評価	見直し余地がある試がついている	理由 説明		植樹帯を申請団体と市との協働により清掃・美化するこ 引に寄与している。	とで、街の中の自然を保護し、市民の		
	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならない:			ものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等	Fに任せることはできないか。)		
	□ 見直し余地がある☑ 妥当である	理由 説明	本来、市が管理すべき公共施設であるが、申請者との協働により維持 等、それぞれの役割の中で市の関与は必要である。				
	③対象・意図の妥当性(事務事	業の現状	や成果から考え	て、対象と意図を見直す余地がないか。)			
	✓ 見直し余地がある□ 適切である	理由 説明	新規活動団体のある。	の増加だけではなく、高齢化が進む既存活動団体への	持続可能な支援を検討する必要が		
	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上			上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向」	Eしないのか。)		
	✓ 向上余地がある☑ 目標水準に達している	理由 説明	各団体によって 性がある。	活動量に差があるため、一律の補助金を見直すことで	ぶより市全体としての成果向上の可能		
有				場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)			
効性評価	□ 影響がない☑ 影響がある	理由 説明	最もコストがか; に繋がる。	かる人件費部分を申請団体に担ってもらっており、廃山	こした場合は市の維持管理コスト上昇		
Щ	⑥類似事業との統合や連携による改善	善 余地(類似₹	事業(市の事業に限ら	らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上	させることはできないか。)		
	□ 改善余地がある ☑ 改善余地がない	理由 説明		植樹帯を申請団体と市との協働により清掃・美化するこ 間に寄与する事業であり、類似事業はない。	とで、街の中の自然を保護し、市民の		
	②事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)						
効率	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由 説明					
性評	⑧人件費(延べ業務時間)の肖	川減余地(月	大果を下げずに ヤ	り方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか	·。)		
価	□ 削減余地がある ☑ 削減余地がない	理由 説明	制度自体が民間(申請団体)のマンパワーを活用しており、削減余地はない。				
公正	③受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)						
平性評価	□ 見直し余地がある 理由 公共施設の動		公共施設の美化	化・清掃活動等を補助の対象としており、広く一般の市民にその効果がもたらされている。			
6	事業評価の総括と今後の方向	生	•				
1)_	上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根	!拠		
/	4 目的妥当性 □ 適切	_	見直しの余地有り	 申請団体との協働により公共施設の維持管理を行・	ゔ╵ᅔᆀᄩᄔᅓᄪᄡᅎᇵᄔᅟᆂᇰᅂᄠ		
E	3 有効性 □ 適切	✓	改善の余地有り	策方針にも適合している。			
	○ 効率性 ② 適切		改善の余地有り 	│ 一方、既存活動団体を支援する視点や、地元企業な │の推進を検討する必要がある。	よど新たな団体の参画を含めた施策 		
[○ 公平性 🗹 適切		見直しの余地有り				
3	③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				④改革改善案による成果・コストの期待効果		
	」 拡充 □ 現状維持 □ 目的再設定 ☑ 改善 □ 休止·廃止 □ 完了 □ な	存団体の また、既 れるため、 化を図る。	モチベーション維 存団体にはスマ オンラインでの	今後の改革改善案 するとともに、積極的にPR(広報・HP等)することで既 持や、地元企業などの新たな団体の参画を誘う。 ホやPCを扱える構成員も増えてきていることが想定さ 補助金申請を検討し、既存団体と市職員双方の効率	コスト 削減 維持 増加 向上 O 成果維持		
					低下		

(廃止・休止、完了の場合は記入不要)